

消化器内科シラバス

【はじめに】

消化器内科は、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓疾患の診断と治療を幅広く扱っている。対象疾患としてはまず癌であり、食道癌・胃癌・大腸癌・肝臓癌・胆道癌・膵臓癌などについて内視鏡、超音波を用いた各種検査、内科的治療（内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、経皮的ラジオ波焼灼術、胆膵内視鏡治療、癌化学療法など）を行うとともに、放射線科や外科と共同で集学的治療に積極的に取り組んでいる。さらに、一般病院として潰瘍、炎症性腸疾患、イレウス、急性・慢性肝炎、肝硬変、胆道結石、胆道炎、急性膵炎などの幅広い疾患に対する診療を行っている。

本実習では、これらの患者を実際に主治医（指導医）とともに担当することで、これまでの医学教育で身につけた知識を基に、問診から、各種検査、診断、治療、患者へのインフォームドコンセント等、実際の医療の流れを生で感じてもらいたい。

当科では消化管・肝臓・胆膵領域の専門医と1週単位でペアとなり、外来・病棟・検査・処置を体験してもらおう予定としている。この実習を通して、チーム医療の遂行に大切な、コミュニケーションや協調に関する能力・態度も習得するよう努力してもらいたい。実習生には単なる「診療の見学」ではなく、積極的な「診療への参加」を期待している。

【当科の特色】

消化管・肝臓・胆膵領域の専門医が複数名所属しており、広島市の中核病院として十分な役割を果たせる体制を整えている。これら各サブスペシャリティ内でのカンファレンスだけでなく、消化器内科全体でカンファレンスを行い、各症例に最も適した診療を行うよう努めている。

【当科で施行している検査・治療】

1) 検査

腹部エコー、造影エコー、肝生検・肝腫瘍生検、上・下部消化管内視鏡、超音波内視鏡（EUS）、腹腔鏡検査、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）、管腔内超音波（IDUS）、経皮経肝胆管造影（PTC）、胆道内視鏡（POCS、PTCS）、超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-FNA）など

2) 治療

①消化管疾患：内視鏡的ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡

的粘膜下層剥離術（ESD）、内視鏡的狭窄拡張術、内視鏡的消化管ステント留置術、経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）、イレウスチューブ留置術など

②肝臓疾患：内視鏡的静脈瘤硬化療法（EIS）、内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）、肝動脈化学塞栓術（TACE）、ラジオ波焼灼療法（RFA）など

③胆・膵疾患：内視鏡的乳頭切開術/バルーン拡張術（EST/EPBD/EPLBD）、内視鏡的経鼻胆道ドレナージ（ENBD）、内視鏡的逆行性胆道内瘻術（ERBD）、内視鏡的経鼻膵管ドレナージ（ENPD）、経皮経肝胆管ドレナージ術（PTCD）、経皮経肝胆道内瘻術（PTBE）、経皮経肝胆囊穿刺吸引/ドレナージ術（PTGBA/PTGBD）、超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ（EUS-CD）など。

【一般目標】

消化器内科への理解を深めるとともに、チーム医療の実際を経験し、医師としての必要な態度・技術を身につける。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 患者および家族と良好な人間関係を築き、患者の痛みや苦しみを理解できる。
- 2) 診療に必要な情報を収集することができる。
- 3) 担当する患者のプロブレムリストを作成し、以後の計画を立案することができる。
- 4) 消化器内科領域の主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。さらに、腹部エコー、内視鏡検査などの消化器内科医に必須な手技を、実際の器機・模型を通じ体験する。
- 5) 消化器内科領域の主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 6) 必要かつ十分な診療記録（カルテ）を作成できる。
- 7) 症例の要約（サマリー）を作成し、適切なプレゼンテーションができる。
- 8) 医療チーム（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割を理解し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

実習時には学生ではなく、社会人（Student Doctor）としての態度が要求される。

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（ジーンズ・サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には、社会人としての礼節を保ち、

広島赤十字・原爆病院

態度、言葉遣いに気を配ること。

3) 守秘義務に留意すること。個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護に気を配ること。

4) 時間厳守。無断欠席をする場合、以後の実習参加は不可とする。やむを得ず欠席、遅刻の場合は必ずペアとなっている指導医に届け出ること。

5) 実習中は自身の所在を明らかにし、連絡が取れるようにすること。

6) 患者さんや他の医療スタッフに、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。

7) 実習初日の集合時間及び集合場所は、実習前週に「もみじの掲示版」で広島大学学生支援グループから通知するため、確認すること。

以後の集合時間及び集合場所については、各診療科指導医の指示を仰ぐこと。

【実習の内容】

1) 第1週の月曜日午前9時よりオリエンテーションを行う。(時間までに、中央棟3階内視鏡センターを訪室すること。) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、指導医の指示に従うこと。以後、消化器内科チームの1人として外来、病棟業務に参加する。

2) 消化器領域(消化管、肝臓、胆膵)における様々な検査・治療法を見学・体験し、理解を深める。

3) 病棟では指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、病歴聴取や診察をおこなう。得られた情報をもとに病態について指導医と検討し、検査計画・治療計画を立てる。

4) 主治医がカルテに記載すべき事柄は、すべて学生用の紙カルテ(模擬カルテ)に記載する。これは実際に医師が用いる電子カルテとは異なるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、漏れなく正確に記載すること。

5) 木曜日と金曜日のカンファレンスでは、内容ある発表ができるよう患者情報をまとめ、事前に十分な準備をしておくこと。

【週間スケジュール】

基本は指導医の指示に基づき行動するため、指導医のスケジュールを把握しておくこと。以下に各スタッフの外来・検査の予定表を記載する。

広島赤十字・原爆病院 外来診療担当表

2019/10/1

診療科	診察区分	月	火	水	木	金
消化器内科	04診察室(内線2234)	岡信 秀治	毛利 律生		岡信 秀治	毛利 律生
	05診察室(内線2235)	河野 友彦	田中美和子	河野 友彦	坂野 文香	越智 秀典
	06診察室(内線2236)	宮木 英輔	岡崎 彰仁	古川 善也	宮木 英輔	岡崎 彰仁
	07診察室(内線2237)	辻 恵二	森 奈美	辻 恵二	当番医	森 奈美
	08診察室(内線2238)	福原 崇之	高木 慎太郎	福原 崇之		高木 慎太郎
	09診察室(内線2239)	森 奈美 豊島 元 初鹿 佳輝	山下 由美子	初鹿 佳輝	上平 祐輔	豊島 元
	超音波(腹部)		河野 友彦 上平 祐輔	高木 慎太郎 岡崎 彰仁 宮木 英輔	肝臓当番	辻 恵二 福原 崇之 山下 由美子
	腹腔鏡				辻 恵二 森 奈美 高木 慎太郎・福原 崇之	
	超音波(乳腺・甲状腺)(内線2526)		筒井 信一(外科)(乳腺)			
検査担当(午前)	造影エコー	辻 恵二 森 奈美 高木 慎太郎・福原 崇之				
	エコー下穿刺/穿刺		辻 恵二 森 奈美 高木 慎太郎・福原 崇之	辻 恵二 森 奈美 高木 慎太郎・福原 崇之		辻 恵二 森 奈美 高木 慎太郎・福原 崇之
	頸動脈エコー			辻 恵二 森 奈美 高木 慎太郎・福原 崇之		辻 恵二 森 奈美 高木 慎太郎・福原 崇之
検査担当(午後)	内視鏡(上部消化管) (内線2220)	久留 昭仁・高木 慎太郎・毛利 律生 岡崎 彰仁・山下 由美子・上平 祐輔・坂野 文香 岡崎 彰仁・山下 由美子・上平 祐輔・坂野 文香	岡信 秀治・辻 恵二 森 奈美 福原 崇之・豊島 元・初鹿 佳輝・坂野 文香	毛利 律生・岡崎 彰仁・河野 友彦 上平 祐輔・坂野 文香・田中美和子	毛利 律生・岡崎 彰仁・河野 友彦 山下 由美子・豊島 元・初鹿 佳輝・坂野 文香	岡信 秀治・河野 友彦・宮木 英輔 岡信 秀治・河野 友彦・宮木 英輔 山下 由美子・初鹿 佳輝・田中美和子
	内視鏡(下部消化管) (内線2220)	久留 昭仁・毛利 律生・岡崎 彰仁 岡信 秀治・坂野 文香	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 初鹿 佳輝・田中美和子	毛利 律生・岡崎 彰仁・宮木 英輔 上平 祐輔・坂野 文香	岡信 秀治・河野 友彦・山下 由美子 豊島 元・越智 秀典・松本 龍重	岡信 秀治・河野 友彦・宮木 英輔 山下 由美子・初鹿 佳輝・田中美和子
	ESD	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 坂野 文香・レフトン医師	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 田中美和子・レフトン医師	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 レフトン医師	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 レフトン医師	
	ERCP		岡崎 彰仁・宮木 英輔 レフトン医師	岡崎 彰仁・宮木 英輔 レフトン医師		
検査担当(午後)	小腸内視鏡	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 レフトン医師	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 レフトン医師	岡信 秀治・毛利 律生・河野 友彦 レフトン医師		

広島赤十字・原爆病院

【評価】

学生の評価は、広島大学からの提示に従い、以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
ポートフォリオの内容	20点
部長試問	20点

【当科スタッフ】

○消化管

第一消化器内科部長兼内視鏡センター長 岡信秀治（平成6年卒）

第一消化器内科副部長 毛利律生（平成11年卒）

第一消化器内科医師 河野友彦（平成30年卒）

○肝臓

第二消化器内科部長兼肝臓センター長 辻 恵二（平成2年卒）

第二消化器内科副部長 高木慎太郎（平成10年卒）

第二消化器内科副部長 森 奈美（平成10年卒）

第二消化器内科医師 福原崇之（平成18年卒）

○胆膵

院長 古川善也（昭和55年卒）

第一消化器内科医師 岡崎彰仁（平成15年卒）

第一消化器内科医師 宮木英輔（平成20年卒）

○レジデント医師

第一消化器内科医師 宮本明香（平成26年卒）

第一消化器内科医師 上平祐輔（平成27年卒）

第一消化器内科医師 豊島元（平成27年卒）

第一消化器内科医師 山下由美子（平成27年卒）

第一消化器内科医師 初鹿佳輝（平成29年卒）

【参考図書、文献】

当院では電子カルテ内に今日の診療（今日の治療指診、今日の診断指針、治

広島赤十字・原爆病院

療薬マニュアル、新臨床内科学、内科診断学など)が納められているので、適宜参照できるが、実のある実習となるよう、消化器内科領域の教科書を読んだ上で、実習に参加してもらいたい。

- 1) 内科診断学 福井次矢ら編 第2版 医学書院
- 2) 内科レジデントの鉄則 聖路加国際病院内科チーフレジデント編 医学書院
- 3) 消化器疾患最新の治療 2015-2016 菅野健太郎著 南江堂
- 4) 輸液ができる・好きになる 今井裕一著 羊土社
- 5) 朝倉内科学 矢崎義男総編集 第10版 朝倉書店